

ていーあんだールール入退院支援連携コンセンサスブック（第2版）完成報告会

- ① 「那覇市在宅医療・介護連携推進事業について」 ちゅいしーじー那覇 高江洲 あやこ
- ② 「ていーあんだールール（第2版）作成の歩み」 作業部会リーダー 伊禮 智則 氏
- ③ 「入退院時連携におけるツールについて報告（改定のポイントや特徴など）」
 - ◇入院時情報共有シート ケアマネジャー：比嘉 貞憲 氏
 - ◇看護サマリー 看護師：田中 あや子 氏
 - ◇リハビリテーション情報提供書 セラピスト：屋宜 伸春 氏
 - ◇ソーシャルワーカーサマリー 医療ソーシャルワーカー：長 原野 氏
 - ◇お薬手帳 薬剤師：中尾 滋久 氏
 - ◇栄養管理計画書・栄養情報提供書・疾患に係る栄養上の視点 栄養士：新垣 千明 氏
 - ◇要介護認定申請連絡票 ちゃーがんじゅう課：松本 千晶 氏

○日 時：令和8年3月24日（火） 午後7時00分～8時30分

○場 所：沖縄県医師会・3階ホール

○参加者：54名（医師6名、看護師5名、薬剤師4名、セラピスト4名、
MSW・MHSW7名、ケアマネジャー9名、栄養士4名、
社会福祉士2名、行政8名、その他5名）

【目的】本人・家族の意思を尊重し、自宅や施設など地域からの入院（入所）及び退院（退所）、また急変時において質の高い情報提供や相談支援が受けられ、医療・介護を包括的かつ継続的に受けることができるよう、円滑な連携・情報共有を図る。

サマリー 本完成報告会は、ていーあんだールール第2版の完成を契機に、多職種連携の意義と今後の方向性を再確認する場となった。コロナ禍や災害を経て、医療・介護の連携の必要性は一層高まり、計31回の意見交換を通じて専門職間の理解と合意形成が積み重ねられてきたことが共有された。また、地域住民の視点を取り入れた点や、新任職員の教育ツールとしての活用の可能性も成果として挙げられる。一方で、理想と現場の乖離という課題は依然として存在しており、今後は本ルールを実践の中で活用しながら、継続的な見直しと人材育成を進めるとともに、「本人中心」の支援を軸とした連携体制の定着が求められる。



開会の挨拶：友利 博朗 氏



主催者挨拶：當山 忠彦 氏



閉会の挨拶：安里 千文 氏



高江洲 あやこ



伊禮 智則 氏



比嘉 貞憲 氏



田中 あや子 氏



屋宜 伸春 氏



長 原野 氏



中尾 滋久 氏



新垣 千明 氏



松本 千晶 氏



ていーあんだールール入退院支援連携コンセンサスブック（第2版）に携わっていただいた各専門職の皆様



ていーあんだールール入退院支援連携コンセンサスブック（第2版）完成報告会 参加者全体集合写真